

「ぶうしすてむの『クレド』ができました」

理事長 川崎 壽洋

ぶうしすてむの「クレド」ができました。

クレドとはラテン語で「志」とか「信条」とか「約束」という意味で、経営理念とあわせて、クレドを作成する企業も増えてきています。

ぶうしすてむのクレドは

「個」|| 自分、その在り方

感謝の気持ちを忘れず、常に向上心を持ち

「夢・目標・やりがい」を見出し、誇れる自分を目指します。

「個と集団」|| 自分、仲間との絆

個性・多様性を認め、ともに支え合い協働できる集団を作ります。

守るべきルールで、自らと集団を律します。

「個と地域」|| 自分、社会とのつながり

求められる喜びを糧とし、持てる力を最大限に発揮します。

地域に愛され、社会に貢献できる集団でありつづけることを約束します。

人生を楽しみ仕事を楽しみ希望をもって自立を目指します。

というもので、一部の理事さんや就労継続支援A型事業所の職員さん、利用者さんにも数名入ってもらい、話し合ってきたものです。

自分たちが何のために仕事をしたり、活動したりしているのかといった目的が明確になることで、自分の役割であったり目指す方向性だったり、そういったことを考える機会にもなったと思いますし、理事だけで話し合ってたことを押し付けるのではなく、いろんな立場の人たちが話し合ってた完成したということに大きな意義があると思います。

せっかく良いクレドができたのですから、メンバー全員がこれを常に意識しながら日々の活動に取り組んで行けたらと思います。

時

副理事長 村上正人

障害をかかえ、この歳まで年齢を重ねてくると、残された時間を考える機会が増えてきます。「病院のベッドで過ごす夜」と「旅先で過ごす夜」との2つの時間の流れの「遅さ」と「速さ」を考えた時に、時間を長さで考えるのではなく、密度で考えたいと思うようになりました。病気で倒れ、引きこもりにも似た状態になった時、日々する事が無く、何の目標も計画も持てないでいました。一晩を長く、一年を短く過ごしていた時期がありました。あの頃の経験から、密度を高めるためには、目標と計画が必要になると思います。今日する事があり、明日する事が決まっております、その先の目標がある。

目標に向かって計画を立て、一步一步確実に進んでいけるような日々が続くことを願います。ただ、障害を持ち体調が安定しない状況で、計画通りに人生を歩んで行くことは、難しいことです。でも、出来ないことが多いからこそ、出来る範囲の中で、目標を見つけ無理のない計画を立てる。

実行して上手く行かなければ、原因を見つけ計画を修正する。

時には目標を下げる。時には方向を修正する。

或いは潔くあきらめて、次の目標を見つける。

「今、何してる?」と聞かれたときに、自分が何をしているのか答えられないような漠然とした使い方が出来るほど、時間は残ってないはず。

病状の悪化を目の前に突き付けられると、一年よりも一日が大切に思えてきます。今日一日を精一杯楽しみ、明日が待ち遠しいような時間が過ごせれば幸せですね。あなたに質問です。

行動に移したくても、迷い・ためらっている事はないですか?

「もう二度と、そのチャンスが巡って来なくても後悔はしないのか」と、自分に問いかけてください。

後悔をしないのなら、次の目標を見つけ、計画を立てましょう。

後悔が残るのなら、今すぐ実行しましょう。

今掲げている目標は 半分『夢』ですけど

- ・リハビリを頑張り、もう一度ロードレーサーに乗れるようになって、しまなみ海道を縦断する
- ・収穫の喜びを感じられる農業をする

最後に、希望を込めて

『仮に来年の春に 僕の生命が尽きると判っても

その次の春に咲く花を 明日植えるように 生きてゆきたいと…』

(「さだまさし 小さな手」より)

働くセミナー『ぶうしすてむ12年の研修事業を終えるにあたり』 理事 二神重則

働くとは? この問いにそれぞれの人がそれぞれの答えを持っているのでしょう。ぶうしすてむが働くことを目的に最初のパソコン講習会を開いて12年になります。その間県内各地で様々な障害を持っている方が受講されました。

また、多くの方に開催のご協力をいただきました、ありがとうございます。

当時、障がい者対象の講習会を開催しているのは都会地の一部を除いてありませんでした。現在県内には就労系事業所がA・B合わせて200件強設立されています。それぞれの事業所でパソコンを含む就労向けの研修が行われるようになりました。恵まれた時代が来たと思います。私どもが行ってきたパソコン研修が必要ない環境が出来ました。

パソコン研修事業の終了するにあたり、生きる事や働くことの意味を含め福祉的な支援などを話し合う機会を持ちたいと思いました。そこで、まずは情報提供からと小さなグループの当事者や家族向けのセミナーを開催しました。講師は障害者の福祉を

長年経験されていて多くの皆さんがご存知の、田所さんをお願いしました。

最終の2月28日のセミナーには60名を超える皆さんに集ってもらいました。最後に残念なことがありました。ご質問の中の「お金以外に働く意味は?」を回答できないままになりました。この紙面を借りて皆さんそれぞれに考えてもらいたいと思います。

私はジョン・スチュアート・ミルの言葉がヒントになると思いました。「自らの生活の計画を自分で選ぶのではなく、世間や身近な人たちに選んでもらっている人は、物真似の能力以外に何の能力も必要としない。自分の事を自分で選ぶ人は自分の能力を使う。現実をみるために情報を集め観察し、将来を見通す推理する力を使い、決断のために判断する能力が必要とされ、決定をした後にも自らの決めたことを行うための意志の強さと自制心を必要とする」私はそれがその人の能力や人格を育てる事、労働が憲法に保障された権利のゆえんかと思います。



特定非営利活動法人 ぶうしすてむ 事務局

〒790-0821
愛媛県松山市木屋町3丁目12-7
TEL 089-923-5002 FAX 089-923-5020
<http://www.busystem.jp/>
staff@busystem.jp

砥部事務所

愛媛県伊予郡砥部町八倉170
TEL 089-989-4400



職員紹介

兼久信次郎

はじめまして、エイカの事業を行う事になりました兼久です。今までNPOの中間支援をやってきました。経験を活かしエイカが自立できる様がんばります。よろしくお願ひします。

「協力機関」

愛媛県(障害者スポーツ大会課・障害福祉課)
ひめかれん、八幡浜市(教育委員会・障害福祉課)
愛媛県理学療法士会、八幡浜市社会福祉協議会
くじらグループ

「参加チーム」

山口県選抜チーム、岡山県選抜チーム、龍馬クラブ(高知県)
愛媛県、オレンジスターズ
KIYOYUKI(八幡浜市社会福祉協議会)
川之石高校チーム 計 7チーム

「参加人数」

27日 51名
28日 80名
計 131名



お疲れさまでした♣

また、中四国大会で会いましょう♪

2月27日(土)

Aコート			
愛媛県	25	×	9 KIYOYUKI
KIYOYUKI	3	×	25 岡山県

Bコート				
①	山口県	28	×	26 岡山県
②	愛媛県	25	×	22 山口県

2月28日(日)

Aコート			
山口県	25	×	16 岡山県
山口県	25	×	17 岡山県
山口県	25	×	12 KIYOYUKI
山口県	25	×	6
岡山県	15	×	25 龍馬クラブ
岡山県	16	×	25
龍馬クラブ	25	×	14 KIYOYUKI
龍馬クラブ	25	×	12
愛媛県	19	×	25 岡山県
愛媛県	22	×	25 岡山県
愛媛県	21	×	25 龍馬クラブ
愛媛県	18	×	25

Bコート				
①	愛媛県	25	×	6 KIYOYUKI
②	愛媛県	25	×	5
③	愛媛県	25	×	13 川之石高
④	愛媛県	25	×	8
⑤	川之石高	23	×	25 オレンジ
⑥	川之石高	20	×	25
⑦	オレンジ	20	×	25 山口県
⑧	オレンジ	10	×	25
⑨	山口県	25	×	23 龍馬クラブ
⑩	山口県	25	×	17
⑪	岡山県	25	×	14 川之石高
⑫	岡山県	25	×	10



二神さんの
新たな門出を祝う会にて

3月15日に
行われた送別会
での集合写真です。

【近詠五句】

容赦なく 庭かけめぐる 春北風 大判の 牡丹餅 いよ、春めきぬ
振り向けば 春の雲かな 右手左手 花桃を 傘寿のおうな 愛でるらし
明るさが 誘ふ庭を 春寒し

重川洋一@松前町

『迫害された障がい者たち』

昨年NHKのハートネットでナチスから迫害された障がい者たちが放映されました。

以前からドイツには興味があり好きな国でした。あのベートーヴェンやゲーテを生んだ国でなぜあのような事が起きたのか不思議でした。番組では精神障がい者の迫害からユダヤ人への絶滅計画に進んで行ったとありました。ロマ・LGBTの人たちや宗教的なこと優生学などの詰めがほしい番組でした。

20年位前に「人間の価値展」というのがありました。第1次大戦後のドイツでは多数の生活に困っている人たちに、敗戦による賠償で少ない食料品を分ける仕事から人の選別が始まったと書かれていた様に記憶しています。

「エリス島物語」では、アメリカの自由の女神の横の島でヨーロッパ移民の入口、移民局がありました。殆どの人には「アメリカへようこそ」の扉を開けられたのですが移民希望者の2%は、将来国の負担になると入国を認められず本国へ送り返されたと記録されています。豊かな国日本に来たいとアジアの多くの人を思っていますが、若い技術を持った人しか入れてもらえません。様々な場面で選ばれる人はどのような方でしょうか。

自分の周りの家族や友人思い人そして近所の人ばかりがえのない人たちです。何者にも代えがたい自分の命と同程度の価値を持っています。少ない知人には親しさに価値を覚え、知らない多数の人々には数値化できる労働力を見ているのでしょうか、わかりません。

最後に難しい話を書きました、私は男の高齢者です、沈没する船からは一番最後になるでしょう。労働の交換価値を重く見て競争社会を生き残ってきた人間です。それで良いと思っています。

万人に優しく、万人に生きる価値のある社会、この先どのような社会が来るのか見てみたい気がします。難しい。

二神重則

漫画 口笛ベーカリー



編集後記

3.11 忘れられないあの日から5年。昨年、三陸鉄道南リアス線に乗る機会を得た。隣に座った年配の女性が見せてくれた見事な桜の写真。沿線の故郷に咲いていた自慢の桜だとか。今はもうない……。海岸をかさ上げの為に土砂を積んだダンプが砂煙をあげて忙しく走る。いつかもう一度訪れてみたい……。 葉月

◆口笛ベーカリー◆

住所 愛媛県松山市東石井5丁目3-13
営業時間：午前11：00～午後3：00
定休日：日曜日・月曜日・火曜日・祝日
TEL：089-907-0155 NPO法人 ほっとねっと
http://hotnet.or.jp/facility3.html